平成30年度 徳島県立中央病院 治験審査委員会 会議の記録の概要	
開催日時	平成30年9月21日（金） 17:30 ～17:38
開催場所	徳島県立中央病院 3階 学生控室
出席委員名	尾崎修治、新野清人、石川和恵、篠原正勝、髙島宏輔、濱口智亘、遠藤一弘、佐藤明子、中野成代
欠席委員名	大森隆史、柴田啓志、藤永裕之、橋本真理
説明医師	
議題及び審議を含む主な議論の概要	議題① No.443 小野薬品工業株式会社の依頼によるONO-7057の第Ⅲ相試験 依頼者 小野薬品工業株式会社 審議結果 有害事象報告を踏まえ、治験を継続する妥当性について審議した。本治験を継続することに問題なく承認とした。 議題② No.456 非弁膜症性心房細動患者を対象としたDU-176b（エドキサバン）第III相試験 依頼者 第一三共株式会社 審議結果 有害事象報告を踏まえ、治験を継続する妥当性について審議した。本治験を継続することに問題なく承認とした。 議題③ No.475 駆出率が保持された慢性心不全患者を対象としたエンパグリフロジンの第Ⅲ相試験 依頼者 IQVIAサービシーズジャパン株式会社 審議結果 有害事象報告を踏まえ、治験を継続する妥当性について審議した。本治験を継続することに問題なく承認とした。 変更点が添付文書の改訂について審議した。本治験を継続することに問題なく承認とした。 議題④ No.476 駆出率が低下した慢性心不全患者を対象としたエンパグリフロジンの第Ⅲ相試験 依頼者 IQVIAサービシーズジャパン株式会社 審議結果 有害事象報告を踏まえ、治験を継続する妥当性について審議した。本治験を継続することに問題なく承認とした。 変更点が添付文書の改訂について審議した。本治験を継続することに問題なく承認とした。 議題⑤ No.481 再発又は難治性の多発性骨髄腫患者を対象にカルフィルゾミブ，デキサメタゾン及びDaratumumab とカルフィルゾミブ及びデキサメタゾンを比較する無作為化非盲検第Ⅲ相試験 依頼者 小野薬品工業株式会社 審議結果 有害事象報告を踏まえ、治験を継続する妥当性について審議した。本治験を継続することに問題なく承認とした。 治験実施状況報告を踏まえ、治験を継続する妥当性について審議した。本治験を継続することに問題なく承認とした。 治験実施計画書からの逸脱（緊急の危険回避を除く）に関する報告。 ・前回開催（8月）の本委員会議事録についての確認がされホームページに掲載することとした。